

集合住宅用セキュリティシステム

集中制御装置 中央制御装置 64戸用制御装置

品番 VL-786

品番 VL-785A

品番 VL-784

管理事務室親機

警報表示装置

共同玄関子機

AC: テレビカメラ付
AN: 「管理室呼出」表示無
AY: 「管理室呼出」表示有

品番 VL-485A

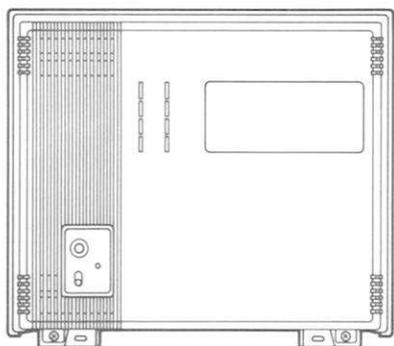
品番 VL-885A

品番 VL-575AN, 575AY, 575ACN, 575ACY
VL-576AN, 576AY, 576ACN, 576ACY

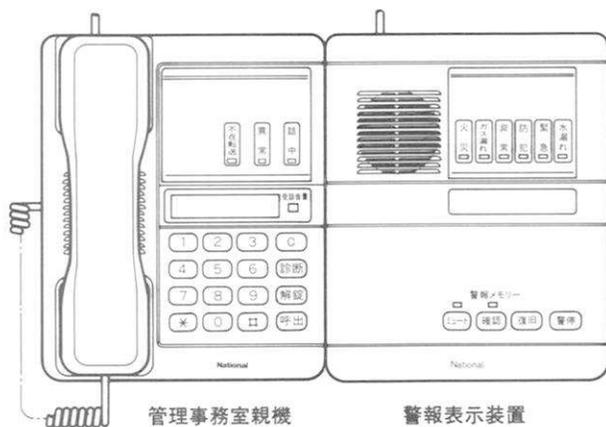
取扱説明書

保証書別添

このたびは、集合住宅用セキュリティシステムをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

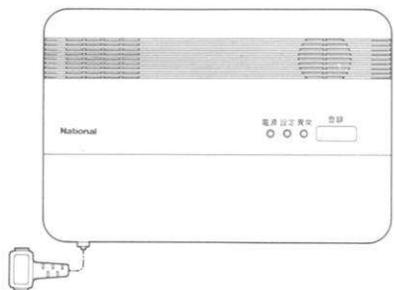


集中制御装置 VL-786
中央制御装置 VL-785A

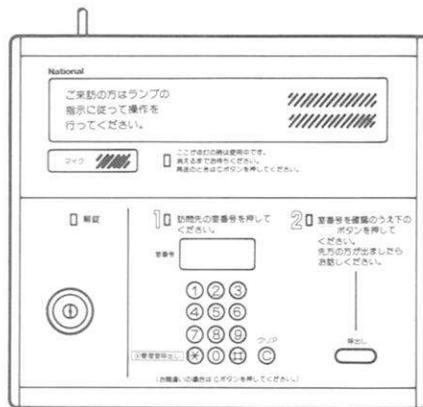


管理事務室親機 VL-485A
警報表示装置 VL-885A

※管理事務室親機と警報表示装置を組合せた例です。



64戸用制御装置 VL-784



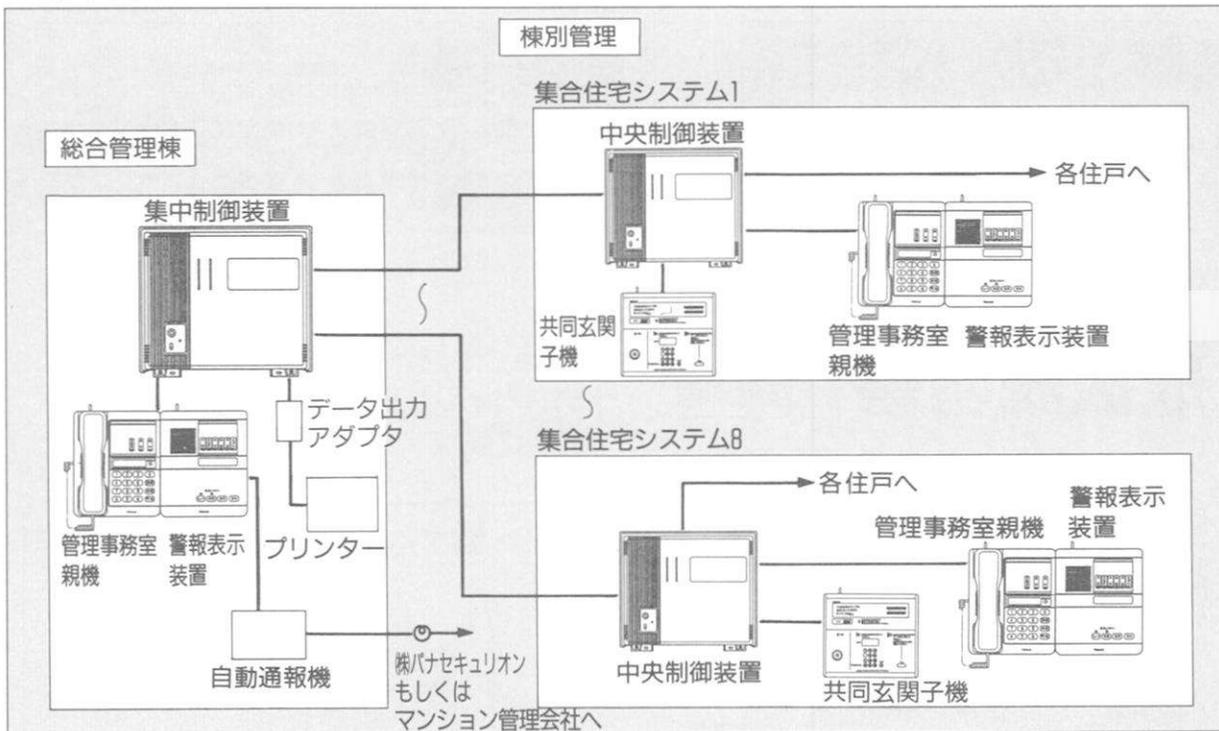
共同玄関子機 VL-576AY

- ご使用のまえに、この説明書と別添の保証書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。
- 保証書は「販売店名・購入日」などの記入を確かめ、販売店からお受取りください。

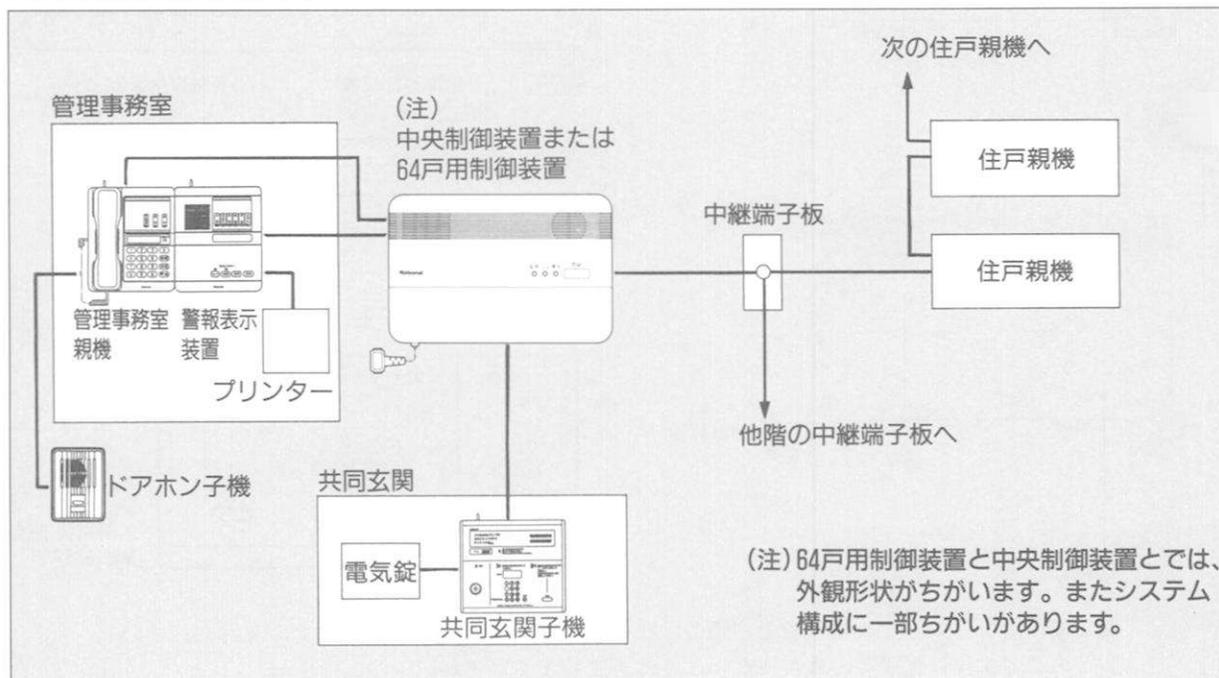
特長

本システムは、集合住宅のさまざまな建築構法に対応できるように制御装置を3機種揃え、システム化・ネットワーク化を追求し、複数の共同玄関子機や管理事務室親機を設置できる集合住宅システムです。

■集中管理システム



■集合住宅システム



使用の際のご注意

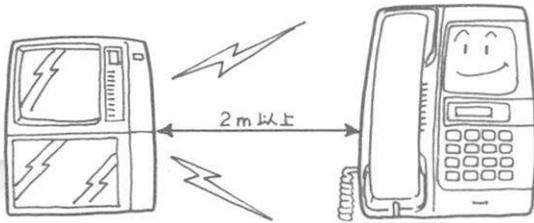
- 本体に水などをかけないでください。故障の原因になります。



- ぶついたり、キズをつけないでください。



- ラジオやテレビから2m以上離してご使用ください。雑音が入ったりすることがあります。



施工店などと「保守契約」を結び、定期点検は、必ず行なってください。

- システムとして正常に動作するためにも、必ず定期点検を実施してください。
- 特に住戸親機にGP型3級受信機を設置したときは、消防法により定期点検が義務づけられています。



■GP型3級受信機を設置した場合

消防士、点検資格者が点検します。

消防法設備の種類	点検の内容及び方法	点検の期間
自動火災報知設備	外観点検及び機能点検	6ヵ月
	総合点検	1年
配線	総合点検	1年

- 定期点検の報告は……

消防長または消防署長へ、点検報告を提出しなければなりません。

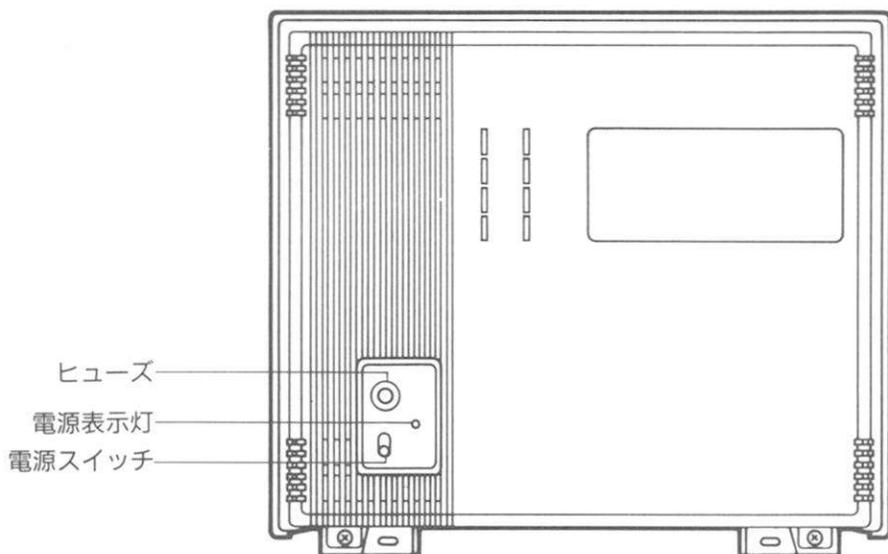
- 特定防火対象物の場合——1年1回
- その他の防火対象物の場合——3年に1回

もくじ

制御装置	3
管理事務室親機	5
警報表示装置	17
共同玄関子機	20

この取扱説明書の文中に「プログラム設定」の付いている項目は、取付け時に制御装置（VL-786、VL-785A、VL-784）での設定が必要です。

集中制御装置・中央制御装置



- 集中制御装置VL-786 (外觀は同じです。)
- 中央制御装置VL-785A

特長

- ①管理事務室親機、警報表示装置、共同玄関子機など共用部の機器の電源を供給します。(DC24V)
- ②システムの仕様はプログラム設定ユニットにより設定できます。
(住戸番号、通話路数、管理事務室親機・共同玄関と住戸との対応など)
- ③停電のときも、システム設定の内容は記憶します。

●バッテリー装置(DC24V) オプション

バッテリー装置を接続しますと、管理事務室親機、警報表示装置、共同玄関子機は、停電時でも、正常に作動させることができます。

●停電時、すべての動作は停止します。

復旧すると元どおりに作動します。

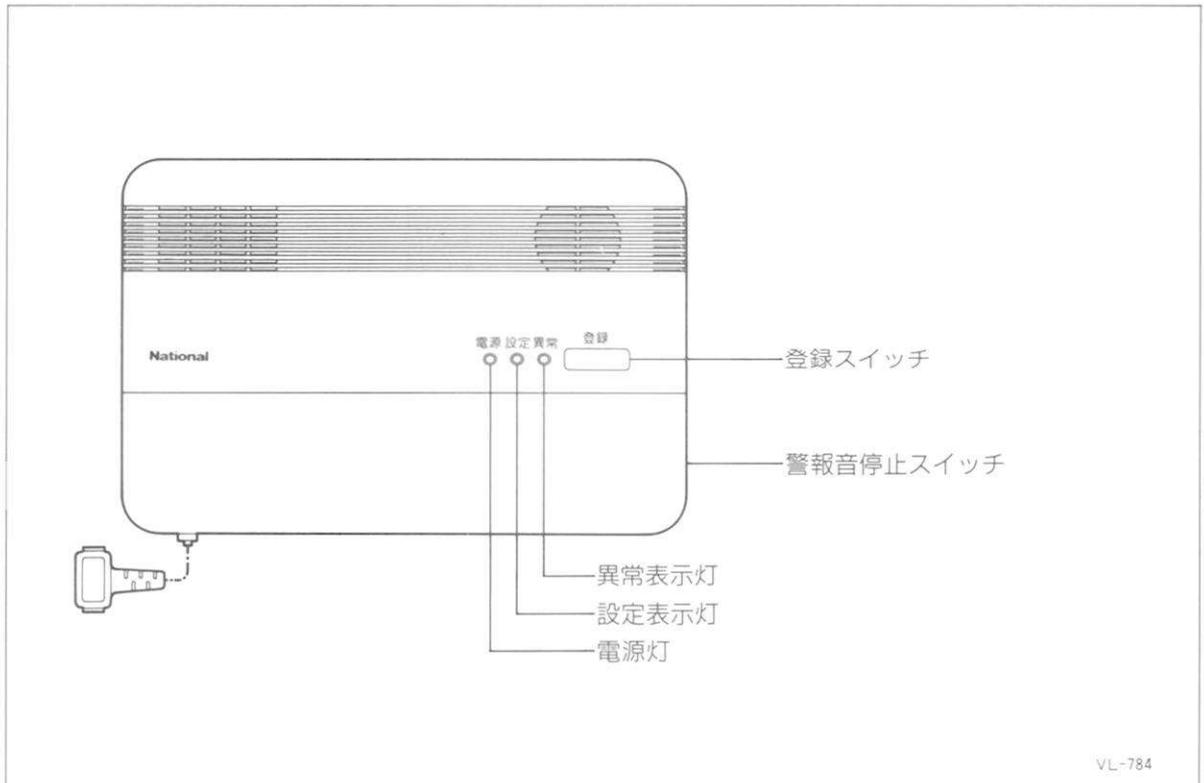
●システムの設定は初期に行いません。設定変更を行なう場合は、施工店にご連絡ください。

注意 システム設定後は電源を3ヵ月間以上切らないでください。システム設定内容が消去され、再設定が必要になります。

ご使用のまえに「電源スイッチ」を入れてください。

- 制御装置の「電源スイッチ」は、システムを作動させるスイッチです。
- ご使用のまえに「電源スイッチ」を入れ、電源表示灯が点灯するのを確認してください。

64戸用制御装置



VL-784

■特長

- ①管理事務室親機、警報表示装置、共同玄関子機など共用部の機器の電源を供給します。(DC24V)
- ②システムの仕様はプログラム設定部より設定できます。
(住戸番号、通話路数、管理事務室親機・共同玄関と住戸との対応など)
- ③停電のときも、システム設定の内容は記憶します。

●停電時、すべての動作は停止します。

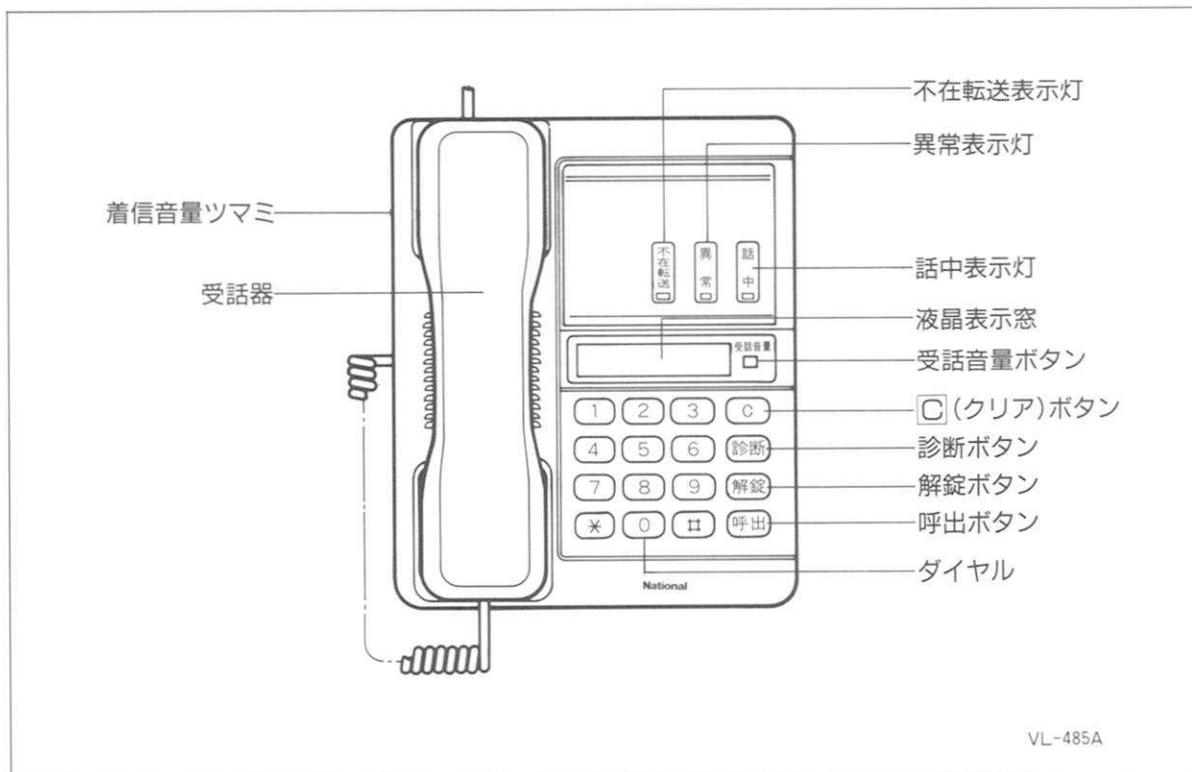
復旧すると元どおりに作動します。

●システムの設定は初期に行ないます。設定変更を行なう場合は、施工店にご連絡ください。

注意

システム設定後は電源を3ヵ月間以上切らないでください。システム設定内容が消去され、再設定が必要になります。

管理事務室親機



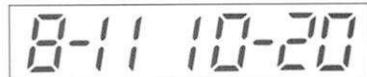
VL-485A

名 称	操 作・表 示
不在転送表示灯	不在転送状態のときに点灯します。
異常表示灯	住戸親機、共同玄関子機、警報表示装置などが故障や停電で動かなくなった場合に点滅します。異常箇所の表示中は点灯します。
話中表示灯	通話路がふさがっているときに点灯します。
受話音量スイッチ	通話中の相手の音量を調整できます。
液晶表示窓	ダイヤル番号、相手番号、メッセージ登録状態の確認、異常発生箇所を表示。また待受時は時刻を表示しています。
C ボタン	ダイヤルを押しまちがったときに押すと、クリアされます。また、通話中に押すと通話が切れます。
診断ボタン	押すと、動作異常（故障など）になっている住戸や共同玄関などを表示します。
解錠ボタン	共同玄関の電気錠を解錠するときに押します。通話中に押すと解錠できます。 ※モニターテレビを接続してあるときは、モニター中に押しても解錠できます。 ※ワンタッチ解錠設定時には、受話器を取らずに押すだけで解錠できます。
呼出ボタン	相手を呼出すときに、ダイヤルしたあとに押します。※押さないと呼出しません。

■液晶表示について

- 通常(使用していないときは)、
月 日 時刻 を表示しています。

表示例：8月11日 10時20分



- 通話時の相手番号やメッセージ登録・確認、故障箇所や通話話確認などが表示されます。

■モニターテレビを接続した場合

- 共同玄関から呼出されたとき
モニターテレビにお客さまが映ります。
※通話が終り、受話器を元に戻すと映像は消えます。

呼出されたときは…受話器を取るだけで通話できます。

- 相手番号が液晶表示窓に表示され、呼出音でどこからの呼出しかわかります。

住戸親機・他の管理事務室親機から

ポロポロ

共同玄関子機から

ピンポンピンポン

管理事務室のドアホン子機から

ピンポン

ご注意

通話は約10分で自動的に切れます。
(切れる約30秒前に警告音が鳴ってお知らせします)

同時に呼出されたときの優先順位

- ドアホン子機が最優先です。
- ※ドアホン子機の呼出は、他と通話中でも呼出音が鳴ります。
- ※他の呼出しは先着順になります。

通話が終わりましたら、受話器を正しく掛けてください。

※正しく掛けていないと警告音(プープー)が鳴ります。受話器を正しく掛け直してください。

共同玄関の解錠

- 共同玄関と通話中に、**解錠** ボタンを押してください。
- ※通話中以外は解錠できません。
- ※モニターテレビを接続してある場合、モニター中に**解錠** ボタンを押すと解錠できます。
- ※ワンタッチ解錠設定時は、受話器を取らずに**解錠** ボタンを押すだけで解錠できます。

■通話中の相手の音量を調節できます。



- 受話音量切換ボタンを押すと受話音量を「大」「小」2段階に切換えることができます。

■着信音の音量を調節できます。



呼出しの方法

ダイヤルするまえに「話中表示灯(赤色)」が消えていることを確認してください。

※点灯しているときは、すべての通話路が使用中ですので、使用できません。

■住戸の呼出し

●個別呼出し

- 1 受話器を取ります。
- 2 住棟番号と✳ボタンを押します。

※住棟番号は1～89の1ケタまたは2ケタです。

※1棟だけの場合、または制御装置が64戸用制御装置の場合、この操作はありません。

- 3 住戸番号を押し、呼出ボタンを押します。

※住戸番号を押すと、住棟と住戸の番号が表示されますので、確認してから呼出ボタンを押してください。

※番号は押しまちがえたらCボタンを押してやり直してください。

- 4 呼出音が小さく聞こえます。
応答があったら、お話しください。

●音声で呼出すときは

個別呼出4の操作で呼出音が鳴っているときに、ダイヤル番号

- 1を押し、「○○さ～ん」と音声で呼出してください。

受話器を戻さなくても、続けて
ダイヤルできます。

- ①通話が終わったらCボタンを押します。
(終話になり、待受状態になります)
- ②次に呼出す相手番号をダイヤルします。

ご注意

通話は約10分で自動的に切れます。

(切れる約30秒前に警告音が鳴ってお知らせします)

■不在などで連絡がつかない場合、連絡事項があることを知らせることができます。

●メッセージ登録

個別呼出^④の操作で、呼出音が鳴っているときに[✳]ボタンを押します。

※住戸親機のメッセージランプが点滅し、管理事務室から連絡があることを知らせます。
※登録されると管理事務室親機は話中音になります。

●メッセージ登録してあることの確認

①受話器を取ります。

②住棟番号と[✳]ボタンを押します。

※住棟番号は1～89の1ケタまたは2ケタです。

※1棟だけの場合、または制御装置が64戸用制御装置の場合、この操作はありません。



③住戸番号を押し、^診断 ボタンを押します。

④メッセージ登録してあるときは、住棟番号・住戸番号とともに、「メッセージ有」が液晶表示されます。

※メッセージ登録されていないときは、「メッセージ有」は表示されません。

●続けてメッセージ登録を確認するとき

上記④の液晶表示を確認したあと、[□] ボタンを押して、②③の操作をします。

※次の住戸の住棟番号・住戸番号とともに「メッセージ有」が表示されます。

※さらに続けて確認するときは、上記操作を繰り返します。

※[□] ボタンを押したときに、表示は消えます。

住戸親機のメッセージランプを消すとき

個別呼出し操作(P.7参照)の^①～^④を行ない、呼出音が鳴っているときに、^田 ボタンを押します。

住戸への一斉放送、棟別放送

プログラム設定

1 受話器を取り、**[H]** ボタンを押します。

2 次に

一斉放送の場合……………ダイヤル番号**[0]**と**[呼出]** ボタンを押して放送してください。

棟別放送の場合……………棟番号(1~89の1ケタまたは2ケタ)と**[呼出]** ボタンを押して放送してください。

※ **[呼出]** ボタンを押して0.5秒間リングバックトーンが鳴りますので、そのあと、受話器で放送してください。
※ 一斉放送・棟別放送ともに、使用中の住戸親機には放送されません。

緊急一斉放送・緊急棟別放送

プログラム設定

1 受話器を取ります。

2 **[H][*][H]** ボタンを順に押します。

3 次に

一斉放送の場合……………ダイヤル番号**[0]**と**[呼出]** ボタンを押して放送してください。

棟別放送の場合……………棟番号(1~89の1ケタまたは2ケタ)と**[呼出]** ボタンを押して放送してください。

※ **[呼出]** ボタンを押して0.5秒間リングバックトーンが鳴りますので、そのあと、受話器で放送してください。
※ 緊急一斉放送、緊急棟別放送をしますと、使用中の住戸親機の通話はすべて切れ、強制的に放送されます。

他の管理事務室親機の呼出し

① 受話器を取ります。

② 呼出す管理事務室親機の番号と「呼出」ボタンを押します。

※管理事務室親機の番号を押すと、液晶表示されますので、確認してから「呼出」ボタンを押します。

※番号を押しまちがえたら「C」ボタンを押してやりなおしてください。

※集中管理事務室親機を呼出すときは、「0」と「✕」ボタンを押したあと、上記の操作を行いません。

③ 呼出音が小さく聞こえますので、応答があったらお話しください。

※音声では呼出せません。

※通話は約10分間で切れます。(切れる約30秒前に警告音で知らせます)

不在転送の設定

管理事務室が留守になる場合、住戸などからの呼出を、他の管理事務室親機へ転送することができます。

■設定方法

① 受話器を取ります。

② 「✕」ボタンと転送先の管理事務室親機の番号を押し、次に「H」ボタンを押します。
このとき不在転送表示灯(赤色)が点灯します。

③ 受話器を元に戻します。

転送の設定は終わりました。不在転送表示灯は点灯のままです。

※転送先の管理事務室親機が故障や接続されていないときは、不在転送設定ができません。
(話中音が鳴ります)

●不在転送状態のとき

① 管理事務室親機への呼出は、すべて転送先の管理事務室親機へ転送されます。

② 転送先の管理事務室親機の受話器を取ってお話しください。

●不在転送の解除 (不在転送を設定した管理事務室親機で行ないます)

① 受話器を取ります。

② 「✕」ボタンと「H」ボタンを押すと、不在転送表示灯が消灯します。

③ 受話器を元に戻します。

転送設定は解除されました。

通話路の確認

通話中に、**診断** ボタンを押します。
正常なときは、通話路ナンバーが表示されます。

※別の通話路を確認するときは、一度通話を切り、再度呼出して **診断** ボタンを押してください。(通話路は自動的に別の通話路となります)

アラーム音が鳴ったら、故障か停電です。

住戸親機の電源OFF、共同玄関子機、警報表示装置などが、故障や停電で動かなくなった場合

- ①アラーム音が鳴り、異常表示灯(赤色)が点滅します。
- ②受話器を取ると、アラーム音が止まり、異常箇所が液晶表示されます。
 - 異常箇所が重複しているときは、**診断** ボタンを押してください。次の異常箇所が液晶表示されます。
 - 異常は、最大20箇所まで自動的に記憶します。

記憶させている異常箇所を表示させるとき

- ①受話器を取り、**診断** ボタンを押すと異常箇所が表示されます。
- ②再度 **診断** ボタンを押すと、次の異常箇所を表示します。
 - ※ **診断** ボタンを押すたびに異常箇所が表示されます。
 - ※すべて表示が終ると、最初の異常箇所の表示にもどります。
 - 異常表示灯(赤色)が点灯中……管理事務室親機の記憶している異常箇所を表示します(20箇所まで)
 - 異常表示灯が消えている時……制御装置が記憶しているすべての異常箇所を表示します。
 - ※異常箇所がない場合は「0」が表示されます。

管理事務室親機で記憶された異常を消すとき

C ボタンを押してください。

※表示している記憶のみ消え、次の記憶が表示されます。

住戸親機のセキュリティ警報音を停止することができます。 プログラム設定

■管理事務室親機の操作でできます。

- 住戸親機のセキュリティ警報音を停止するには
住戸親機を呼出し、ダイヤル番号 $\boxed{9}$ を押します。
- 住戸ドアホンのセキュリティ警報音を停止するには
住戸親機を呼出し、ダイヤル番号 $\boxed{8}$ を押します。

住戸親機の呼出操作 (詳しくは P.7 参照)

①受話器を取る→②住棟番号→③ \times ボタン→④住戸番号→⑤ 呼出 ボタンの順序です。1棟の場合、②③の操作はありません。

共同玄関子機を呼出してモニター、電気錠を解錠することもできます。

管理事務室にモニターテレビを接続時、

- ①受話器を取り、ダイヤル番号 $\boxed{1}$ を押します。
- ②共同玄関子機の番号を押し、呼出 ボタンを押します。
- ③通話状態になり、外の音が聞こえ、モニターテレビに映像がでます。
※この状態で解錠 ボタンを押すと、共同玄関の電気錠が開きます。
- ④受話器を戻すと通話が切れ、モニターテレビの映像も消えます。

ご注意

モニターテレビを接続していないときも、呼出して外の音を聞くことができます。

管理事務室親機でのプログラム設定方法

プログラム設定は、取付け時に設定してあります。ただし、共同玄関の暗証番号・解錠時刻・時間、管理事務室親機の日付・時刻は、管理事務室親機でプログラム設定の変更ができます。

※プログラム番号02～10までは取付け時に設定します。設定後は変更しないでください。

■プログラム設定番号・設定内容

集中制御装置 VL-786

中央制御装置 VL-785A

プログラム番号	設定内容
02	一斉 有り・無し
03	警報音停止 有り・無し
07	管理人呼出規制 有り・無し
08	異常情報出力 有り・無し
09	セキュリティ解錠 有り・無し
10	ワンタッチ解錠 有り・無し
41～48	共同玄関 暗証番号
51～58	共同玄関 解錠時刻
60～61	日付、時刻設定
71～78	共同玄関 解錠時間

64戸用制御装置 VL-784

プログラム番号	設定内容
02	一斉 有り・無し
03	警報音停止 有り・無し
07	管理人呼出規制 有り・無し
08	異常情報出力 有り・無し
09	セキュリティ解錠 有り・無し
10	ワンタッチ解錠 有り・無し
41～42	共同玄関 暗証番号
51～52	共同玄関 解錠時刻
60～61	日付、時刻設定
71～72	共同玄関 解錠時間

■暗証番号の変更

共同玄関子機(設定番号1番)の電気錠の暗証番号「1234」を「5678」に変更するとき。

- 1 受話器を取ります。
- 2 ボタンを2回押します。
- 3 ダイヤルでプログラム番号 を押します。
- 4 ボタンを押します。
※設定されている番号が表示されます。
- 5 暗証番号をダイヤル と押します。
- 6 ボタンを押します。
- 7 受話器を元に戻す (ボタンを押す)と設定終了です。

■暗証番号の変更

共同玄関子機(設定番号1番)の電気錠を暗証番号で解錠できなくするとき。

1	受話器を取ります。	<input type="text"/>
2	※ボタンを2回押します。	<input type="text" value="cc"/>
3	ダイヤルでプログラム番号411を押します。	<input type="text" value="cc41"/>
4	□ボタンを押します。 ※設定されている暗証番号が表示されます。	<input type="text" value="1234"/>
5	※ボタンを押します。 ※暗証番号の表示は「0000」になりません。	<input type="text" value="c"/>
6	□ボタンを押します。	<input type="text" value="cccc"/>
7	受話器を元に戻す(□ボタンを押す)と設定終了です。	<input type="text"/>

■電気錠解錠時刻の変更

共同玄関子機(設定番号1番)の電気錠の解錠時間7時から8時までを、9時から10時に変更するとき。

1	受話器を取ります。	<input type="text"/>
2	※ボタンを2回押します。	<input type="text" value="cc"/>
3	ダイヤルでプログラム番号511※1(または※2)を押します。	<input type="text" value="cc51c1"/>
4	□ボタンを押します。 ※設定されている時刻が表示されます。	<input type="text" value=" 0700-0800"/>
5	解錠開始時刻をダイヤル0900□と押します。	<input type="text" value="0900-"/>
6	解錠終了時刻をダイヤル1000□と押します。	<input type="text" value="0900-1000"/>
7	□ボタンを押します。	<input type="text" value=" 0900-1000"/>
8	受話器を元に戻す(□ボタンを押す)と設定終了です。	<input type="text"/>

電気錠解錠時刻の変更

共同玄関子機(設定番号1番)の電気錠の解錠時刻を解除するとき。

1	受話器を取ります。	<input type="text"/>
2	☒ボタンを2回押します。	<input type="text" value="cc"/>
3	ダイヤルでプログラム番号511☒1(または☒2)を押します。	<input type="text" value="cc51c1"/>
4	☐ボタンを押します。 ※設定されている時刻が表示されます。	<input type="text" value="1 0700-0800"/>
5	☒ボタンを押します。	<input type="text" value="c"/>
6	☐ボタンを押します。	<input type="text" value="1 ccccc-cccc"/>
7	受話器を元に戻す(☐ボタンを押す)と設定終了です。	<input type="text"/>

■電気錠解錠時間の変更

住戸親機・管理事務室親機からの操作で、解錠したときの時間を15秒から30秒に変更するとき。

1	受話器を取ります。	<input type="text"/>
2	☒ボタンを2回押します。	<input type="text" value="c"/>
3	ダイヤルでプログラム番号711を押します。	<input type="text" value="cc71"/>
4	☐ボタンを押します。 ※設定されている時間が表示されます。	<input type="text" value="15"/>
5	解錠時間をダイヤル30と押します。	<input type="text" value="30"/>
6	☐ボタンを押します。	<input type="text" value="30"/>
7	受話器を元に戻す(☐ボタンを押す)と設定終了です。	<input type="text"/>

■日付の変更

5月5日と表示されている日付を、6月30日に
変更するとき。

現在の表示

5-05 10-15

1	受話器を取ります。	<input type="text"/>
2	☒ ボタンを2回押し ます。	<input type="text" value="cc"/>
3	ダイヤルでプログラ ム番号60を押しま す。	<input type="text" value="cc60"/>
4	☐ ボタンを押します。 ※設定されている日付が表示されます。	<input type="text" value="880505"/>
5	変更する日付をダイヤ ル880630と 押します。	<input type="text" value="880630"/>
6	☐ ボタンを押します。	<input type="text" value="880630"/>
7	受話器を元に戻すと 設定終了です。	<input type="text" value="6-30 10-15"/>

■時刻の変更

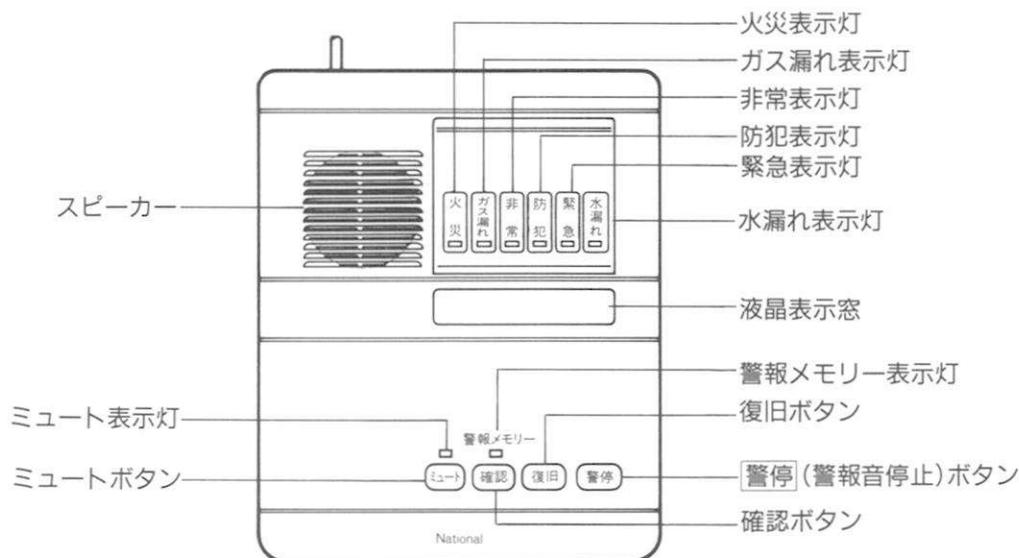
10時15分と表示されている時刻を、3時30分に
変更するとき。

現在の表示

5-05 10-15

1	受話器を取ります。	<input type="text"/>
2	☒ ボタンを2回押し ます。	<input type="text" value="cc"/>
3	ダイヤル番号でプロ グラム番号61を押 します。	<input type="text" value="cc61"/>
4	☐ ボタンを押します。 ※設定されている時刻が表示されます。 このとき時・分・秒まで表示されます。	<input type="text" value="101530"/>
5	時刻をダイヤル15 3000と押し ます。 ※設定する時刻は24時間表示になります。 また設定時刻は時・分・秒まで設定してく ださい。	<input type="text" value="153000"/>
6	☐ ボタンを押します。	<input type="text" value="153000"/>
7	受話器を元に戻す (☐ ボタンを押す)と 設定終了です。	<input type="text" value="5-05 15-13"/>

警報表示装置



VL-885A

名 称	操作と表示	表示灯
ミュート表示灯	ミュート状態のとき点灯し、警報音が鳴らないことを示します。	赤(点灯)
ミュートボタン	押すとミュート状態となり、警報音が鳴らなくなります。	
火災表示灯	各住戸で異常が発生すると警報音「ウーウー」が鳴り、それぞれの表示灯が点灯して原因もわかります。	赤(点灯)
ガス漏れ表示灯		//
非常表示灯		//
防犯表示灯		//
緊急表示灯		//
水漏れ表示灯		//
液晶表示窓	警報時の住棟番号、住戸番号、発生時刻などを表示します。 通常は 月 日 時刻を表示。	赤(点灯)
警報メモリー表示灯	警報が重複したときに点灯し、原因と住戸番号を記憶します。	赤(点灯)
復旧ボタン	警報音停止ボタンを押してから押すと、液晶表示されている内容だけを消すことができます。	
警停ボタン	押すと警報音が止まります。	
確認ボタン	押すと記憶している警報内容を、液晶表示と表示灯の点灯で確認できます。	

■液晶表示について

- 通常(警報がないとき)は

月 日 時刻 を表示しています。

表示例 8月11日 10時20分

8-11 10-20

- 日付、時刻のあわせかたは、管理事務室親機で操作・設定します。

(P16参照)

住戸で異常が発生すると

- 警報音「ウーウー」が鳴り、原因を示す表示灯(赤色)が点灯します。
- 住棟番号、住戸番号、警報発生時刻が表示されます。

警報音を止めるには「**警停**ボタン」を押してください。

※ **警停** ボタンは警報音停止ボタンです。

異なる異常が同時に発生し、警報が重複した場合。

警報表示は先着順です。
先の警報内容を表示します。

- 警報メモリー表示灯が点灯し、警報が重なったことを知らせます。

※ 重複した警報内容は、16件まで記憶します。
※ 警報が重複中に、さらに異常が発生したときは警報メモリー表示灯は一度消灯し、再度点灯します。

必要な警報だけを受けられます。

- 6つの警報から選んで設定できます。
火災・ガス・非常・防犯・緊急・水漏れ
(住戸親機側の機能により、警報が異なります)

パネルの下の設定スイッチで設定します。

自動通報機の接続で火災・ガス漏れ・非常警報を、電話を利用して必要なところへ知らせることができます。

※ 自動通報機VJ-601B、VJ-602B (オプション)

複数の警報表示装置で、同時に警報を受けられます。

- 管理人が1人の場合は、不在となる方の警報表示装置の **ミュート** ボタンを押してください。警報音が鳴らなくなります。

警報音を鳴らさないようにもできます。

- **ミュート** ボタンを押します。
ミュート表示灯が点灯し、住戸で異常が発生しても警報音は鳴りません。
- 再度 **ミュート** ボタンを押すとミュート表示灯が消え、元に戻ります。

重複している警報の確認

- **確認** ボタンを押します。
警報内容が表示されます。(住棟と住戸番号、発生時刻が液晶表示され、原因を示す表示灯が点灯します)

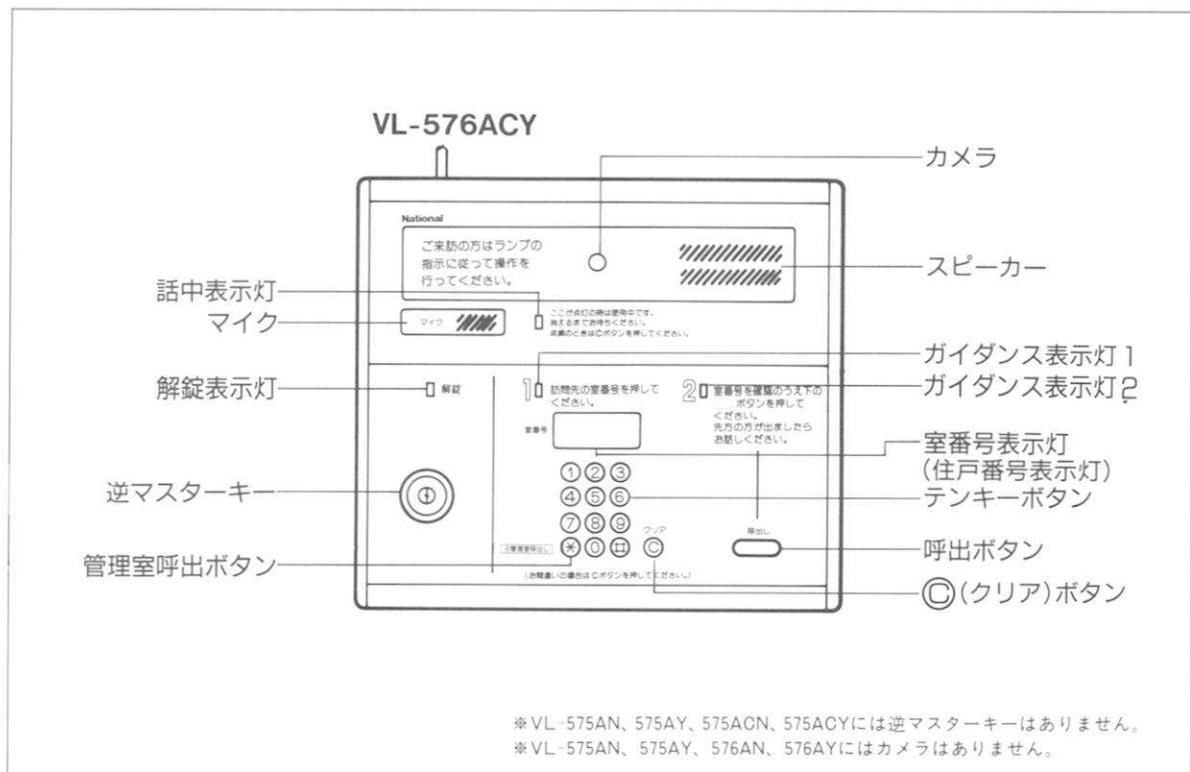
※ 最初の警報内容が再び表示されるまで、**確認** ボタンで内容を確認してください。

表示している警報内容を消すときは

- **警停** ボタンを押したあと、
復旧 ボタンを押してください。

※ **復旧** ボタンを押すと表示している警報内容が消え、次の警報内容が表示されます。
※ すべての警報内容を消すときは、表示が出なくなるまで繰返し、**警停** ボタンと **復旧** ボタンを押します。
※ 重複警報がなくなると、警報メモリー表示は消えます。

共同玄関子機



各住戸の呼出し

- 話中表示灯が点灯中は使えません。消えるまでお待ちください。
- 点灯しているガイダンス表示灯の説明文にもとづいて操作します。

1 テンキーボタンで、訪問先の室番号(住戸番号3~4ケタ)を押します。

- ※ デジタル表示されますので確認してください。
- ※ 誤った場合は◎ボタンを押して、やり直してください。

2 呼出ボタンを押します。

- ※ 呼出しても応答しない場合、呼出しは約30秒で止まります。
- ※ 相手が通話中の場合、話中表示灯が点滅します。◎ボタンを押して再度操作し直してください。(点滅は約15秒間で自動的に消えます)
- ※ 通話は約10分間で自動的に切れます。(通話が切れる約30秒前に警告音が聞こえます)
- ※ 通話路がふさがっている場合は、話中表示灯が点灯します。(消えるまでお待ちください)

3 応答があったら、マイクに向かってお話しください。

管理事務室の呼出し

- 話中表示灯が点灯中は使えません。消えるまでお待ちください。

⊗ ボタンを押します。
応答があったら、そのままお話しください。

共同玄関の電気錠の解錠

■ 逆マスターキーでの解錠

シリンダーに各住戸の玄関キーを差込み、右に回して元に戻すと解錠できます。

※ 逆マスターキー付共同玄関子機のみできます。

■ テンキーでの解錠

⊕ ボタンを押し、暗証番号(4ケタ)を押すと解錠できます。

※ 暗証番号はあらかじめ設定しておいてください。暗証番号の設定方法はP.13参照。
※ 暗証番号を押しているとき、番号はデジタル表示されません。

ご注意

- 解錠されると、解錠表示灯が点灯し、約2秒間解錠音が鳴って知らせます。
- 解錠時間は約1～60秒の間で設定します。(初期設定は15秒間です)

仕様

集中制御装置 VL-786

電源電圧	AC100V
消費電力	320W(最大)
周囲温湿度	0～+40℃ 90%以下
外形寸法(mm)	高さ375×幅440×奥行198
質量(重量)(kg)	9
外観色調	アッシュグレー

64戸用制御装置 VL-784

電源電圧	AC100V
消費電力	最大30W
周囲温湿度	0～+40℃ 90%以下
外形寸法(mm)	高さ200×幅294×奥行50
質量(重量)(kg)	1.3
外観色調	アーバンホワイト

管理事務室親機 VL-485A

電源電圧	DC24V (制御装置より供給)
消費電流	待受時 75mA 最大 180mA
周囲温湿度	0～+40℃ 90%以下
外形寸法(mm)	高さ86×幅170×奥行213
質量(重量)(kg)	1.2
外観色調	アッシュグレー

共同玄関子機 VL-575AN・575AY・575ACN・575ACY 576AN・576AY・576ACN・576ACY (*)

電源電圧	DC24V (制御装置より供給)
消費電流	待受時 75mA 最大 150mA
周囲温湿度	0～+40℃ 90%以下
外形寸法(mm)	高さ350×幅395×奥行46(逆マスター付78)
質量(重量)(kg)	4
外観色調	ゴールド調、シルバー調

中央制御装置 VL-785A

電源電圧	AC100V
消費電力	320W(最大)
周囲温湿度	0～+40℃ 90%以下
外形寸法(mm)	高さ375×幅440×奥行198
質量(重量)(kg)	9
外観色調	アッシュグレー

警報表示装置 VL-885A

電源電圧	DC24V (制御装置より供給)
消費電流	待受時 65mA 最大 220mA
周囲温湿度	0～+40℃ 90%以下
外形寸法(mm)	高さ65×幅170×奥行213
質量(重量)(kg)	0.9
外観色調	アッシュグレー

※共同玄関子機のバリエーション

VL-□□□□□□-□
 ① ②③ ④

- ① 575A：逆マスターキー無 ③ N：「管理室呼出し」表示無
- 576A：逆マスターキー有 Y：「管理室呼出し」表示有
- ② C無：カメラ無 ④ S：シルバー調
- C有：カメラ有 A：ゴールド調

アフターサービスについて

1. 保証書 (別に添付してあります)

保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読み後、大切に保管してください。

保証期間——お買い上げ日から1年間です

2. 修理を依頼される時

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が出張修理させていただきます。

お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」(別紙)にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

●保証期間が過ぎているとき

お買い上げの販売店へご依頼ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

販売店にご依頼にならない場合はお近くの「お客様ご相談センター」(別紙)にご連絡ください。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

この集合住宅用セキュリティシステムの補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後、最低7年保有しております。

4. アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または、お近くの「お客様ご相談センター」(別紙)にお問い合わせください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

ご購入年月日	年 月 日	品番	VL-786、VL-785A、VL-784、VL-485A、VL-885A、VL-575AN、VL-575AY、VL-575ACN、VL-575ACY、VL-576AN、VL-576AY、VL-576ACN、VL-576ACY
販売店名		電話 ()	-
お近くの当社 ご相談センター		電話 ()	-

0293

7A0511Z9EJ

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒226 横浜市都筑区佐江戸町600番地 電話 (045) 932-1231(大代表)